

5-37

庶発第1,003号 昭和36年12月19日

内閣総理大臣 池田 勇 人 殿

日本学術会議会長 和 達 清 夫

第2室戸台風による研究施設の災害復旧について(勧告)

標記のことについて、本会議第35回総会の議に基づき、下記のとおり勧告します。

記

第2室戸台風は、高潮などによつて、関西諸都市に大きな災害をもたらした。

政府は災害の復旧に努力をかたむけているが、科学研究施設の復旧には、その特殊性を十分に留意し1日も早く研究再開ができるように措置されたい。

なお、第2室戸台風による研究施設の災害は極めて広範なものであるが、大阪大学理学部における災害の事情を事例の1つとして参考までに別紙を添付する。

(別紙)

大阪大学理学部における第2室戸台風による災害復旧額調

(大阪大学提示の資料により作成)

区 分	大阪大学最終申請額
理 学 部	(万円)
物 理 教 室	3,484
原 子 核 研 究 所	12,250
極 低 温 実 験 室	3,257
化 学 教 室	4,693
生 物 学 教 室	1,185
共 通 設 備	2,434
計	27,303
(参 考)	
建 物 関 係 復 旧 費	2,555
設 備 々 品 復 旧 費	27,303
消 耗 品 復 旧 費	1,796
応 急 対 策 費	38
計	31,692

5-38

庶発第1,026号 昭和36年12月25日

内閣総理大臣 池田 勇 人 殿

日本学術会議会長 和 達 清 夫

各分野における将来計画推進方策について(勧告)

標記のことについて、本会議第35回総会の議に基づき、下記のとおり勧告します。